



tokoro TOKORO

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



あけまして  
おめでとう  
ございます

次世代を担う  
**若者たち**  
あさひ  
～育成牛にエサやりをする米山東亜さん～  
(紹介は10ページ)

2021.1  
No.  
**585**



# 次世代へ繋がる農業の創造を

常呂町農業協同組合

代表理事組合長 川 上 和 則

## ■昨年を振り返り

組合員の皆様におかれましては、輝かしい令和3年の新年来迎えられましたことについてお喜び申し上げます。また、昨年末の新型コロナウイルス感染症が拡大していく状況にある中で、日々感染予防に努めていることと存じます。

さて、昨年の本町農業におきましては、2月の玉葱播種作業を皮切りに、春の移植作業も順調に進みましたが、6月5日に福山地区を中心とした局地的な降雹により、約50haに及ぶ農業被害に見舞われました。一部廃耕となつた圃場もあり、被害に遭われ

ました。本年から第9次農業振興計画の実践を

ました組合員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。最終的には、馬鈴薯全般が8月の高温干ばつの影響により減収となりましたが、その他の作物では計画を上回る豊作の年となりました。価格面では、コロナ禍の影響により業務・加工業界の需要停滞や外食やお土産などの需要が大きく減少しており、組合員の皆様の所得にも大きな影響が出ていると認識しております。医療体制は厳しい状況にあります。が、早急にワクチン接種などを対策が進み、早急に終息しますことを願っております。

今回第9次の策定に際しまして、昨年、當農集団との対話集会を開催しました。その中では、現在の恵まれた諸条件があるのも、先人たちが苦労を重ねて開拓し、水害をはじめとした自然災害を幾度となく乗り越えてきた歴史の積み重ねであることを再認識しました。そのためには、年

が策定され「スタートする」ととなります。第8次の達成・未達成の反省を踏まえ、「魅力ある常呂農業」「豊かな農村生活」を実現するためには、力強い農業基盤の確立が基本となり、農協を中心とした組織活動を推進するとともに、次世代の地域農業を担う人材の育成が重要と考えております。

今年度は、常呂農業振興計画の実践として、昨年、當農集団との対話集会を開催しました。その中では、現在の恵まれた諸条件があるのも、先人たちが苦労を重ねて開拓し、水害をはじめとした自然災害を幾度となく乗り越えてきた歴史の積み重ねであることを再認識しました。そのためには、年

の歴史と先人が築き上げてきた常呂農業を次世代へとつなげるためにも、第8次から引き続き「適正輪作の確立」と「土づくりの増進」が基本であると考えています。土づくりのための堆肥投入や緑肥栽培を取り入れ、常呂町産業振興公社が生産するホタテ貝殻を原料とした粒状化石灰を積極的に投入することで資源の循環を進める「TOKORO型クリーン農業」を実践し、近年多発する異常気象にも耐えうる農業基盤を確立することができます。

一方、農家人口の減少や高齢化は、本町農業においても大きな課題であり、今後遊休農地を出さないよう取り組んでいかなければなりません。特に将来に向けて優れた担い手の育成・確保が大切となるべきです。

結びに、本年も組合員の皆様が健康に留意され、常呂農業が更なる発展と成長を目指し、豊穣の秋を迎えられますように心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

# 令和3年の年頭にあたり



## 北海道農業協同組合中央会

代表理事長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々當農に更に邁進されておられる」と存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目に因つて違いはあります。

が概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年であります。

ますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図つてまいります。

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のある方を見つめなおしていただくことを目的として「AGR-ACTION-HOKKAIDO（アグリアクション北海道）」と題した情報発信を北海道の支援をいただき、スタートいたしました。

「AGR-ACTION-HOKKAIDO」は次の3点子として「農業所得の増大」

## 新たな情報発信で 北海道農業の活性化

つのテーマを伝えることを目的としております。

「多様な担い手の確保・育成」「食と農とでつながるサポート」「150万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。

この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶をいたします。

## 変化の「年」

昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結

果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目に因つて違いはあります。

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のある方を見つめなおしていただくことを目的として「AGR-ACTION-HOKKAIDO（アグリアクション北海道）」と題した情報発信を北海道の支援をいただき、スタートいたしました。

「AGR-ACTION-HOKKAIDO」は次の3点子として「農業所得の増大」

本年は第29回JA北海道大会の実践最終年であることが、この取組みと協同の力をもたらすものであることを確信しております。



## 常呂町農民同盟

委員長 梅田俊則

### 「昨年を振り返り」

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめ関係機関各位には、「ご健勝で新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農民同盟の活動に対し深くご理解とご協力を賜っていますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的流行により、新たな生活様式や農政活動が求められる年となり、多くの事業やイベントが中止、縮小開催となりました。同盟の活動にも多くの影響があり、盟友の皆様には、多くのご迷惑をかけ

たことにお詫び申し上げます。

昨年の常呂町の農業を振り返りますと、春作業につきましては、冬期間の土壤凍結の影響もあり順調に作業が進みました。6月5日に福山地区を中心とした降雹被害があり、廃耕せざるを得ない畠も発生しました。被害に遭われた農家の皆様には心よりお見舞い申し上げます。6月は豪天、低温の日が多く続きましたが、その後の天候は順調に推移し、小麦から始まった収穫作業は、ビートの収穫まで大きな被害もなく、順調に進みました。収量については、全ての作物で平年並みとなつたようです。

酪農については、6月の豪天・低温の影響で一番草の品種には、多くのご迷惑をかけたことがあります。

質が心配されていましたが、デントコーンの収量・品質が良かったことから、来年の乳量が期待されるところです。

昨年は「新たな食糧・農業基本計画」や「酪農・肉用牛近代化計画」の新たなスタートの年がありました。この両計画の重要な項目となっているのが、家族農家を守り地域コミュニケーション確保に努めることとされています。しかし、北海道の農業は、相次ぐ大型国際貿易協定の発効による農畜産物の市場開放や、コロナウイルスの影響により、これまでの発表されています。つ

られた支援が確実に実施され、目標が達成される様に当同盟は、地区連盟や道農連と協力し運動を展開していきたいと考えています。

食料自給率が38%である日本農業のあり方は、WFPの活動を参考にするべきと考えます。

話は逸れましたが今年は、

盟友の皆様との議論を通して、先の「新たな食糧・農業・農村計画」や「酪農・肉用牛近代化計画」の計画達成への行

動をしていく1年としたいと考えておりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

### 計画達成へ向けて

れています。

最後に、本年も皆様にいい1年で有ることをご祈念申し上げ、簡単ではあります、新年ご挨拶とさせていただきます。

世界的な異常気象や内紛、そ

して昨年はコロナ禍があげら

# コロナ禍に負けない農業・農村を



# 多様な人材が輝く力強い農業・地域を

## 網走農業改良普及センター

所長 石川 卓治

明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎えて、皆様のご健康とご繁荣を心よりお慶び申し上げます。皆様には、平素から北海道農政、特に農業改良普及事業を通して、農業改良普及センターの活動に対しまして格別のご支援ご協力を賜り、感謝を申し上げます。

たまねぎ、てん菜などで茎葉の損傷被害が発生するなど、心中不安の中、當農がスタートされたことと存じます。その後は、概ね高温、少雨傾向で推移しながらも、大きな気象災害もなく、各作物とも順調に収穫が行われました。

作柄は豆類で開花期以降の高温、少雨により小粒傾向となり収量が平年をやや下回ったものの、各作物とも平年並からそれ以上の収量を確保することができます。皆様の日頃からの、きめ細やかな営農管理の賜と、深く敬意を表するところです。

### 新型コロナ ウイルスと共に

### 多様な人材が輝く 力強い農業と地域

令和2年2月28日、北海道

地域農業においては、「高

齢化」などによる農家戸数の減少が進む中、地域の維持・発展のため、多様な人材を育むことが農業振興の命題であります。特に、新規就農者の確保・育成、経営感覚を備え

た優れた農業経営者の育成、

地域をリードできる女性農業者

の育成には、現状の多くの

支援の継続が求められます。

また、地域農業を支える多様

な人材に対する働きやすい

環境づくりの推進も必要にな

ります。

多様な人材が輝く力強い農

業と地域を創造するのに当た

り、令和3年3月に北海道で

は第6期北海道農業・農村振

興推進計画（令和3年度から

7年度までの5年間）が公表

されます。今年は各々の経営状況において新型コロナウイルスの影響を検証し、今後の更なる影響も想定しながら、當農計画を見直すことも必要なこ

とを示した上で、その実現に向けた施策を市町村や生産者、消費者、関係団体等と連携して総合的に推進していくための関係者共通の指針として作成されます。

普及センターも當農業の「めざす姿」を皆様と共に、また協働し、地域が元気に持続的な営農が推進されなければ、微力ながらご支援させていただきたいと思います。

令和3年は「丑年」となります。「我慢」「発展の前ぶれ」

とも言われているようですが、このコロナ禍において新たな行動スタイルによる地道な行動が必要ということでしょう。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、また、豊穣の秋を迎えることができ

ますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

### 作柄良好

昨年の作況を振り返りますと、畠地の耕起作業は、4月上旬の降雨の影響があつたものの概ね平年並に進み、各作物の播種・植付もほぼ平年並となりました。6月上旬には一部地域において降雪があり、

## 豊作の秋に感謝込め

JJAといじろ（川上和則組合長）は11月20日、常呂神社で収穫が無事終了したことへの感謝を込め、新穀感謝祭を行いました。新型コロナウイルス対策のため規模を縮小し、当JJA役員のみの出席となりました。

開催に際し、JJA役員の皆様は感謝の気持ちを込め、玉串の奉納をしました。



●玉串奉納をする川上組合長

## 有害鳥獣の一斉捕獲を実施



●一斉捕獲の際、集合写真

北見市獣友会は11月8日、北見市エリアで有害鳥獣の一斉捕獲を実施し、同常呂支部（馬木昇支部長）の会員14人が出動しました。

近年有害鳥獣による農作物被害が多発する中、こうした行事は被害軽減のための重要な位置づけとなっています。今回の捕獲対象は主に鳥やキツネなどの小動物となっていました。おり、カラスの羽、ハトの羽、キツネ1頭を捕獲しました。

## 医療従事者へ感謝を込めて

### 「北見市の銘菓を贈呈」

JJAといじろは、11月30日に地域への貢献、医療従事者への支援と感謝の気持ちを込め、常呂厚生病院と特別養護老人ホームといじろに、その後、網走厚生病院、遠軽厚生病院・北見保健所へ北見市の銘菓を贈呈しました。

贈呈に際し、川上組合長は「誰もが不安を抱える中、皆様の献身的な努力が私たちの命を支えてくださっている。甘味で皆様の疲れが少しでも和らげれば幸いです」と話しました。



●老人ホームとここで北見の銘菓の贈呈

## 常呂総合支所へ食材を贈呈

JJAといじろは地域の学校給食などで活用してもらおうと常呂産玉葱400kg、常呂産小豆を使用したレトルトせんざい360パック、「きたほなみ」を使用した流水うどん200袋を寄贈しました。

この取り組みは、地産地消と食農教育を推進し、知育農業への理解を深めてもらうことを目的に平成22年から行われております。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、遅れて12月24日に、川上組合長から須藤勇一常呂自治区長に目録が手渡されました。川上組合長からは「コロナ禍で日常生活に大きな影響が出ておりましたが、コロナウィルスに負けないよう元気をつけていた。川上組合長か

た。川上組合長から「ただくとともに、食を通じて常呂農業への理解を深めてもらいたい」と挨拶しました。

これらの食材は、小中学校の給食や保育所のおやつに使用される予定です。



●常呂総合支所で農産物の贈呈



# 新年あけまして おめでとうござります

J A と こ る

監	代	理	常	副	会
小井	今	鈴	石	江	小野寺
原	原	木	澤	山	長
啓	久	洋	孝	茂	俊
人	敏	平	廣	規	幸
ひ	弘	剛	彰	靖	哲

常昌町加工馬鈴薯  
生産組合

常昌町小豆生産組合

常昌町4Hクラブ

常昌町農協利用者  
年金友の会

常昌町種馬鈴薯  
生産組合

常昌町麦生産部会

常昌町農協青年部

常昌町農業青色申告会

常昌町玉葱振興会

常昌町激原馬鈴薯部会

常昌町酪農振興会

常昌町農協女性部  
フレッシュミセス部会

常昌町農民同盟

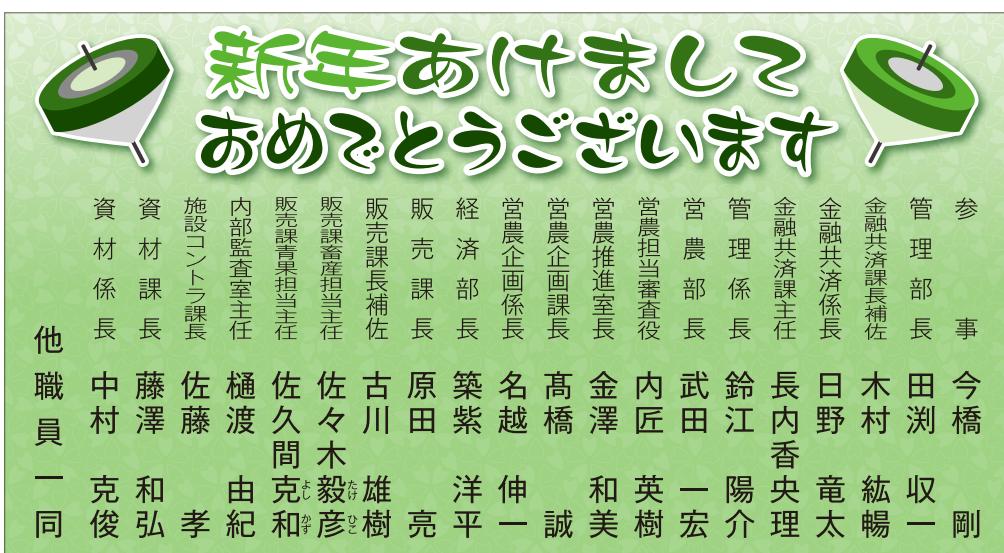
常昌町甜菜対策協議会

常昌町南瓜生産組合

常昌町農協女性部

常昌町「シーラ」  
耕作者部会

常昌町農業担い手  
受入協議会



初春

常呂町農協漁協  
共同給油所

運営委員長 江田哲一 哲  
役員 一 貢貢  
他 他  
役員 一  
山田 一  
役員 一  
長 長  
所 所

**丑**  
**年**  
**の**  
**職**  
**員**

今年はこんな年になります

目標を実現し、  
実りのある  
1年に！

金融共済課長補佐  
**木村 紘暢**  
S60年11月生まれ

昨年はコロナ禍で  
あったため、今年は  
寧寧の一年になる  
ことを願います。

管農担当審査役  
**内匠 英樹**  
S36年12月生まれ

コロナに負けず、  
前進する年に  
したい。

販売課青果担当主任  
**佐久間克和**  
S60年5月生まれ

後輩に負けないよう  
自分自身を伸ばし、職場や  
組織にとって色々伸ばす  
ことが出来る大人を  
を目指して頑張ります。

販売課長補佐  
**古川 雄樹**  
S60年5月生まれ

今年も現状に  
満足せず、  
新しいことに進んで  
挑戦していきたい。

販売課  
**山田 瞬也**  
H9年10月生まれ

今年も楽しく  
過ごしたい！

販売課  
**若松亜弥音**  
H9年1月生まれ

2020年12月号で記載した内容に誤りがありましたので訂正致します。

●最 終 ペ - ジ: (誤)田房輝幸さんの圃場⇒(正)田房浩幸さんの圃場

●年末年始の業務日程: (誤) 信用部⇒(正) 金融共済店舗

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。今後も引き続き「光と風の大地」をよろしくお願い致します。

# 行事予定表

1月1日(金)～1月31日(日)

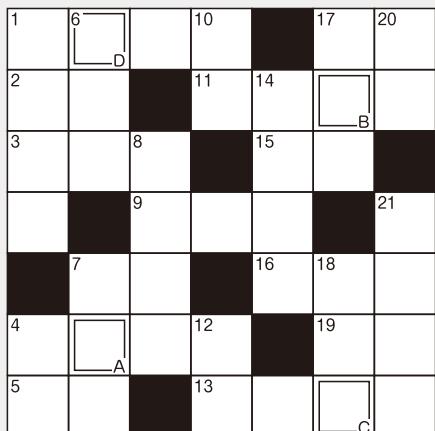
- 1月 1日(金) 元日
- 1月 4日(月) 金融共済店舗 仕事始め
- 1月 7日(木) 一般業務仕事始め
- 1月 9日(土) 閉組日
- 1月11日(月) 成人の日
- 1月16日(土) 閉組日
- 1月20日(水) 第65回常呂町農協女性部通常総会
- 1月22日(金) 第54回常呂町玉葱振興会通常総会
- 1月23日(土) 閉組日
- 1月24日(日) 農休日
- 1月25日(月) 第12回定例理事会 フレッシュユミセスの集い
- 1月30日(土) 閉組日

## 第10回理事会報告<11月20日開催>

- ◆臨時職員就業規則など一部改正について
- ◆給与規程の一部改正について
- ◆令和元年産大豆共同計算について
- ◆令和2年産大豆共同計算について
- ◆令和2年度の施設利用料金の徴収について
- ◆令和2年産共計小豆の仮渡金について
- ◆令和2年産共計大豆の仮渡金について
- ◆令和2年産原料てん菜共同計算概算払いについて
- ◆令和2年産共計玉葱の仮渡金について
- ◆組合員の出資金譲渡について
- ◆給与規程の一部改正について
- ◆労働組合からの要求事項について
- ◆年末手当の支給について

### 〈報告事項〉

- ◆10月末仮決算報告について
- ◆内部監査報告
- ◆令和2年産共計小麦の概算精算について
- ◆令和元年産小豆の本精算について
- ◆令和元年産加工生食馬鈴薯本精算について
- ◆第11回JAところ収穫“菜”開催報告について
- ◆組合員の加入・脱退について
- ◆農業委員会報告



## Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Dの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

### ヨコのカギ

- ①富士ニタカ三ナスピは、何に見ると縁起の良いもの？
- ②キャンバスの大きさを表すときに使う言葉
- ③港を表す地図記号はこの形
- ④強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
- ⑤1/100はセンチ、1/1000は
- ⑥なぜか猫が入りたがる物
- ⑦大豆や綠豆の種子を暗い所で発芽させた物
- ⑧物事をするにちょうど良い頃合い
- ⑨おせち料理に入れる煮豆
- ⑩鶴は千年、○○は万年
- ⑪ご飯のこと。カレー○○○
- ⑫ぬいくるみに詰めます
- ⑬ピーヒョロ口と鳴く大きな鳥

### タテのカギ

- ①羽根突きに使う道具
- ④すずりですります
- ⑥止まらず次に進むこと
- ⑦重さを知りたいときに使います
- ⑧テレビやエアコンに向けてボタンを押します
- ⑩ご飯のこと。焼き○○
- ⑫いんいちがいち、いんにがに…
- ⑭○○○○付きのタイで成人を祝った
- ⑯車が動きださないようにタイヤにかまします
- ⑯同種の事例は枚挙に○○○がない
- ⑯凍った場合は氷瀑（ばく）と呼ばれます
- ⑯ひもの○○○○が固くてほどけないよ

### 先月の当選者・解答

12月号のまちがい探しの答えは、  
**「2、3、6、9、12」**でした。  
抽選の結果、次の方が当選しました。  
おめでとうございます。

清尾 妃那乃さん(豊川)

※( )内は地区名です。

### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で1名の方に馬路村あつたかセットをプレゼントします。

### 読者の声

★今回の間違い探しは簡単でした。  
もう少し頭を捻ってみたいで。

(匿名希望)

★毎月楽しみにしています！  
抽選に当たることを祈っています！

(匿名希望)

# 丑年生まれの子どもたち

新年に向けた  
一文字を書いて  
もらいました!!



## 設問内容

- ①趣味・特技
- ②ご両親から一言
- ③一文字を選んだ理由



やすはら じゅんじ  
**安原 淳史さん**

平成21年3月生まれ  
父: 裕治郎さん

- ①ゲーム・サッカー・ピアノ
- ②これからも楽しんで頑張ってください。
- ③勉強をたくさん頑張りたいから。



はやし みのり  
**林 実さん**

平成21年9月生まれ  
父: 直樹さん

- ①水泳
- ②頑張り屋さんのみのりの夢が叶うよう、いつもそばで応援しているよ! 今年も元気いっぱいのニコニコ笑顔をたくさん見たいな♥
- ③水泳を極めたいから。



おはら たける  
**小原 尊琉さん**

平成21年5月生まれ  
父: 啓人さん

- ①陸上・プラモデル作り
- ②最上級生らしく、勉強も陸上も頑張って!
- ③勉強も部活も全部全力で頑張りたいから。



せお こうせい  
**清尾 好惺さん**

H21年8月生まれ  
父: 佳祐さん

- ①ゲーム、スキーやスノボ
- ②自信をもって堂々と、心の優しい男の子に成長してください。今しかできないことをいっぱい楽しんで、好奇心や優しさ、好惺らしさを忘れずに成長していって欲しいです!
- ③去年はコロナでなにもできなかったので、今年は楽しく過ごしたい。

## 編集後記

- 組合員の皆様、そしてご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年も当JA広報誌をご愛読いただきありがとうございました。本年も編集委員一同、皆様により一層親しまれる広報誌作りを目指していきますので、どうぞよろしくお願い致します。
- 《営農企画課：広報担当》

## 次世代を担う 若者たち

### あさひ 育成牛にエサやりをする米山東亜さん

今月の表紙は、岐阜地区の米山東亜さん(22歳)です。育成牛のエサやりをしているところを撮影させていただきました。

撮影後に今後の抱負について聞くと、「牛の育成管理や栽培知識など、農業経営に関する目標を立て、その目標に向かって様々なことを学んでいきたい」と、自家の経営についての真剣な考えを聞くことが出来ました。寒い中、取材にご協力いただきありがとうございました。

